

大阪市立 加美小学校



住所 〒547-0006 大阪市平野区加美正覚寺 3-13-35
 連絡先 ☎06-6791-7501 ☎06-6791-1823
 校長 沖 直美 開校 明治 20 年
 URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751725>



教育理念

地域立

『強い子 明るい子 正しい子』

教育目標

『子どもの 笑顔の ある学校』

教育理念の趣旨

加美に根付いた「優しさ・助け合い・安心感（安全）」を守り続け、日本の伝統的教育である「知育・徳育・体育」のバランスを取りつつ、「実学」の基となる、基礎学力・基礎体力、日々の生活における基本的な習慣、社会性の涵養のための基本的な規範意識の醸成を加美小学校の教育活動の柱とし、より多くの体験的・活動的・実践的な教育活動の機会を提供したい。地域・保護者・教職員は、子どもたちの育成に集中し、話し合い、信頼しあい、協働し、子どもたちと共に、挑戦し成長し続ける学校・共同体を創る。

運営に関する計画

【概要】

- 安全・安心な教育の推進：「学校に行くのは楽しい」と思える教育環境を整え、自分にはよいところがあるという自尊感情を高める取組を行う。
- 未来を切り拓く学力・体力の向上：基礎学力・体力を養うため、子どもたちが「友達と学ぶことが好き・友達と運動することが好き」になる取組を行う。

【年度目標】

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**80%以上**にする。
- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を**86%以上**にする。
- 毎年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を**前年度より減少**させる。
- 毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を**増加**させる。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**70%以上**にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を**40%以上**にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、毎年度、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も**前年度より1ポイント向上**させる。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**82%以上**にする。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**77%以上**にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を**70%以上**にする。

校長先生からのメッセージ

本校は、創立138年を超える歴史と伝統のある学校です。本校の教育の柱とするべく、教育理念「子どもの笑顔のある学校」を、学校協議会を中心に地域と保護者の皆さんで作成しました。「子どもの笑顔のある学校」を教育目標とし、基本的な習慣・行動規範を涵養し、基礎学力・体力を養います。保護者・地域のつながりも強く、日々の登下校の見守り活動や様々な地域活動などいつも学校や子どもたちのために協力をいただいています。特別活動などでたてわり活動（異学年集団）に取り組み、高学年児童が低学年児童に教える姿はほほえましいものがあります。

学習も生活も楽しい学校づくりを通して、笑顔の溢れる加美小で、子どもたちの未来が心豊かでたくましいものとなるよう、教職員一同で取り組んでいます。

校長 沖 直美

R6年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	
59	50	平均正答率(%)

●結果と概要／

「国語科」

平均正答率が59.0%で、全国(67.7%)と比較すると-8.7%と大きく下回っている。前回の調査(対全国-3.2%)と比較しても、差が広がっていることがわかる。

「算数科」

平均正答率が50.0%で、全国(63.4%)と比較すると-13.4%とかなり大きく下回っている。前回の調査(対全国-3.5%)と比較しても、差が広がっていることがわかる。

「全体的」

平均無回答率も、国語科・算数科ともに全国と比較しても約-3%多くなっている。正答数の分布グラフを見ると、国語科・算数科ともに第四区分の児童が多いことがわかる。

●取組の成果と課題／

[国語] 領域別正答率をみると、「B 書くこと」「C 読むこと」で改善が見られた。これは、昨年度より国語科「読むこと」を全学年で研究を行ったことが要因の一つと考えられる。学力向上支援チーム事業を効果的に活用してスクールアドバイザーの先生に継続的に指導していただいたことが、この成果につながったといえる。一方、「A 話すこと聞くこと」については、全国平均-11.5%となった。国語科だけでなく、どの教科でも自分の考えを発表する、友達の考えを聞く主体的・対話的な授業を実践していく必要がある。

[算数] すべての領域別正答率で全国平均-10%以上下回っている。四則計算の計算力などの知識・技能の定着が必要である。また、「C 変化と関係」では、全国平均-18.4%低くなっている。グラフや資料の読み方などの基礎基本的な定着が喫緊の課題といえる。朝学習「KAMI TIME」で百マス計算などの基礎基本の定着と、デジタルドリルを活用した個別最適な学びを実践していく。

一昨年度では、「自分にはよいところがある」の肯定的回答の割合が、56.3%であった。大人が認めること、友達同士で認め合いをすることを大切にされた学校教育を進めた結果、肯定的回答が68.5%と向上した。まだまだ低い結果であるため、継続して児童の良い姿を具体的に称賛し、良好な友達関係が作れるように支援していく。

R5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	15.2	18.9	38.2	38.3	41.4	9.83	128.6	17.7	48.2
女子	16.3	17.1	42.6	34.5	25.6	10.36	120.4	11.1	48.8

●結果と概要／

男子・女子ともに多くの種目で全国平均を下回った。ただし、長座体前屈に関しては、男女ともに全国平均を大きく上回った。

●取組の成果と課題／

休み時間には運動場で鬼ごっこやドッジボール、鉄棒などをして元気に遊ぶ子どもたちの姿が見られた。体力の保持増進に向けた取組である「なわとび週間」「かけ足週間」なども実施して、運動の機会を増やすことができた。また、休み時間には、クラスみんなでドッジボールをしたり、鬼ごっこをしたりして遊びを通して体を動かす機会を設けている。しかしながら、運動に対して消極的な児童が多く、運動の魅力を味わわせることに課題が見つかった。これからは、生涯スポーツの視点に立って運動の楽しさを味わわせることができるよう、今後も工夫した取組を進めていく必要がある。

学校の特徴

本校は、大阪市教育委員会から「学力向上推進モデル校」の認定を受けています。国語科の学びを通じて、語彙力、文章全体のとらえ方、書き手の意図と自分の考えのもち方などを学習の中で定着を図ります。また、「主体的・対話的で深い学び」を実現するという方針に基づき、子どもの基礎学力定着とさらなる学力向上において、取組を推進していきます。また、地域とともにある学校づくりを意識した「地域立」の学校を目指し、学校協議会のご意見・ご要望を積極的に学校運営に取り入れています。

「地域立」=地域・保護者の方と連携した活動



総合的な学習の時間を中心に、多くのゲストティーチャーを招いて体験学習を行っています。特に、土曜授業で実施する「加美ふれあい広場」は10教室以上の学習を開設して様々な体験活動ができるようにしています。

2年生の「まちたんけん」の学習でも地域の方々に大変お世話になっています。「まちたんけん」では、いくつかのグループに分かれて地域の消防署、交番、郵便局、商店や工場等の見学にいらしています。保護者の方には、子どもたちの引率を協力いただいています。

また、登下校時には、子どもの安全を見守るために、地域の方とPTAの方が巡視を行っています。



人を思いやる心を育てる異学年交流



学年にとらわれることなく活動することで、いろいろな集団での協調性を身につけることができることはもちろんのこと、人間関係が広がり、人に優しく接する等、互いを思いやる気持ちが育ちます。

さらに、本校では、「たてわり児童集会」や「たてわり遠足」、「加美小フェスティバル」等に取り組んでいます。



本に親しみ、豊かな心を育む活動



全校児童で取り組む「朝の一斉読書」や平野区で配付されている「読書ノート」等を活用して、読書活動の充実を図っています。また、学校図書館補助員さんや図書館ボランティア「あつぷる」さんにお手伝いしていただきながら、学校図書館も開放しています。昨年度は、PTAによる「親子で絵本のポップづくり」を実施しました。本に親しむ時間が増えれば、国語力がアップするだけでなく、豊かな心の育成にもつながっていきます。

運動を通して体力の向上を図る活動

運動する機会を増やすために、「なわとび週間」や「かけあし週間」を実施しました。

また、メジャーリーガーの大谷選手から贈られたグローブを、体育の授業や休み時間に使用して野球に親しめるようにしました。

